

焼岳の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

<噴火警戒レベル2（火口周辺規制）が継続>

本日（25日）、長野県警察の協力により実施した上空からの観測では、山頂付近の状況に特段の変化は認められませんでした。

防災上の警戒事項等：

想定火口域から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

○概況

本日（25日）、長野県警察の協力により実施した上空からの観測では、山頂付近で従来みられる噴気・地熱域を確認しましたが、これまでと比較して特段の変化は認められませんでした（図2、3）。

また昨日（24日）、焼岳北西山麓から実施した現地調査においても、山頂付近に特段の異常は認められませんでした（図4）。

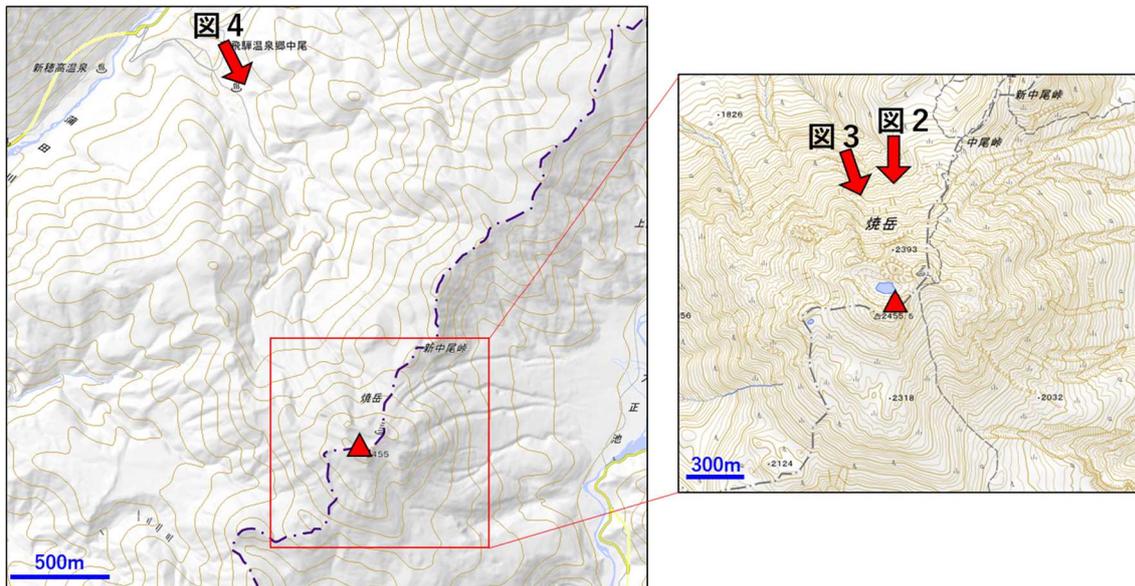


図1 図2～4の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

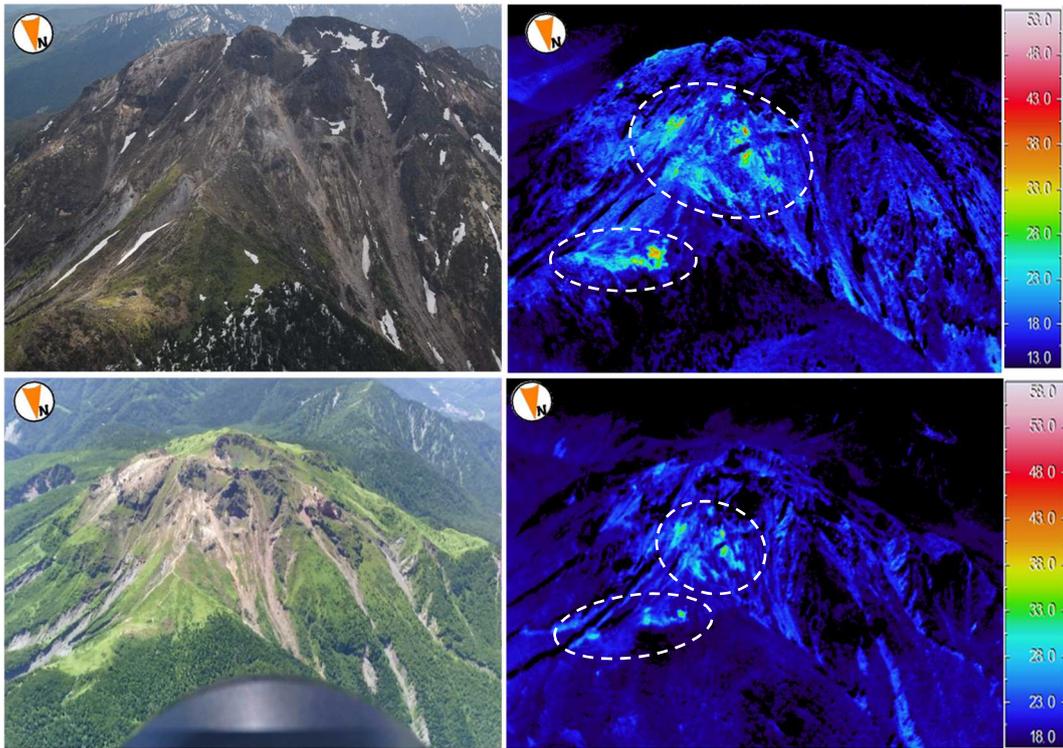


図2 焼岳山頂周辺の状況
上図：2022年5月25日12時40分撮影 下図：2019年8月6日11時21分撮影
噴気・地熱域の状況（白破線）に特段の変化は認められませんでした。

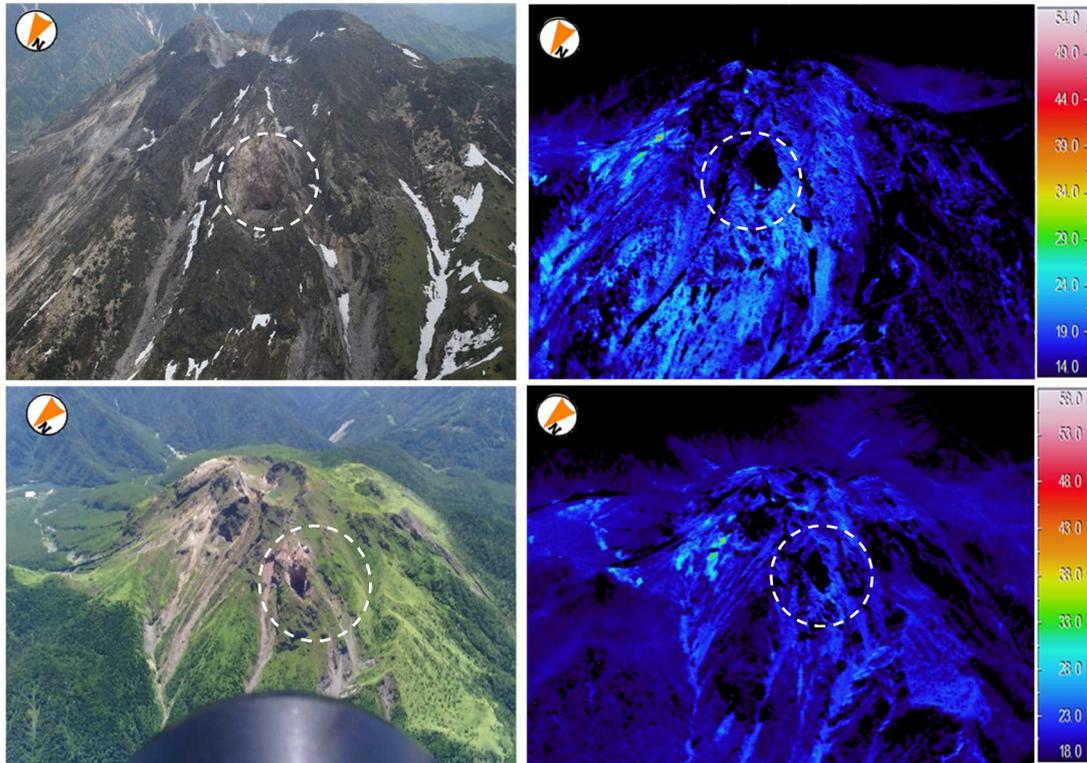


図3 焼岳山頂周辺の状況
上図：2022年5月25日12時39分撮影 下図：2019年8月6日11時20分撮影
黒谷火口周辺（白破線）では特段の変化は認められませんでした。

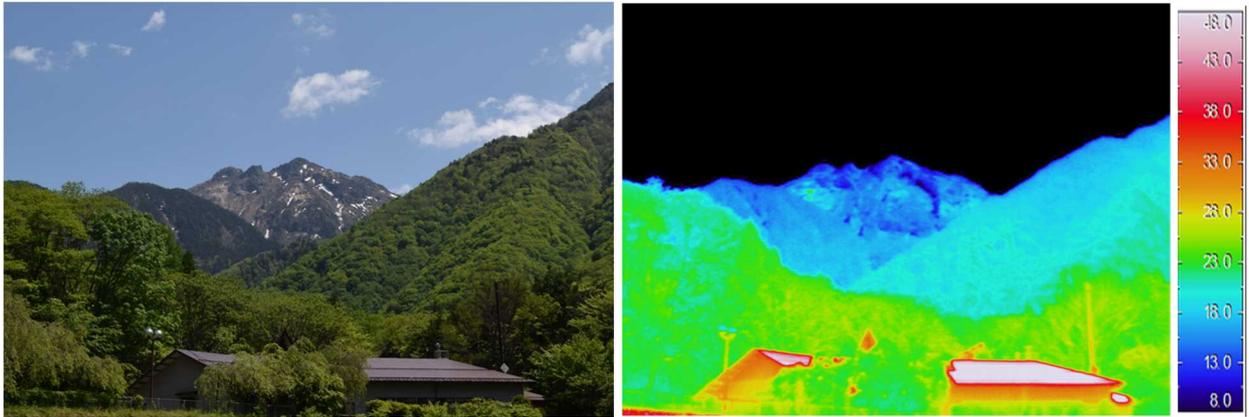


図4 焼岳山頂周辺の状況（2022年5月24日13時32分撮影）
北西山麓からの観測では山頂付近に特段の異常は認められませんでした。